

観光2次交通結節点機能強化事業

～北谷ゲートウェイ～

中間報告書（概要版）



令和7年3月

沖縄県

目次

1. 事業概要	P.1
(1) 背景・目的	
(2) 期待される効果	
(3) 実証事業の内容	
2. 現時点での事業効果	P.7
(1) 那覇空港－北谷ゲートウェイ路線の新設	
(2) 公共交通の利用促進	
(3) 観光客の満足度向上	
3. 課題	P.10
(1) 北谷ゲートウェイの周知強化	
(2) 主要観光地との接続強化	
(3) レンタカーとの連携強化	
(4) 貸切バス駐車場の利用状況の分析	
(5) 実証事業実施に伴う美浜駐車場への影響	
4. 令和7年度 of 取組	P.17
5. 実証事業終了後の事業展開に関する検討事項	P.18
6. 利用状況	P.19
(1) 北谷ゲートウェイが提供する各種交通サービスの状況	
(2) 全モードを含む利用者数	

1. 事業概要

(1) 背景・目的

- ◆ 沖縄観光における交通手段は、レンタカーが主流となっているが、レンタカーは自由に移動したいという観光ニーズを満たす一方、ペーパードライバーなど運転に不慣れな国内観光客や交通ルールの異なる外国人観光客の利用などにより、交通事故の発生やマナー違反などの問題が顕在化している。
- ◆ また、インバウンドの増加や高齢化等により、今後は、運転免許を持たない観光が増加していくことが見込まれる。
- ◆ こうしたことから、多様な交通手段が選択でき、誰もが快適に沖縄観光を楽しめるよう観光2次交通の機能強化を図る必要がある。
- ◆ そのため、沖縄県では、「第6次沖縄県観光振興基本計画（令和4年7月）」及び「沖縄県地域公共交通計画（令和6年5月）」において、主要な観光拠点である北谷町を観光2次交通結節点として位置付けている。
- ◆ 本事業では、観光2次交通結節点「北谷ゲートウェイ」を実証的に設置し、ターミナルとしての運用を行うとともに、那覇空港からの直行バスや美浜エリア周遊バスの運行等を通じて、観光客の移動利便性の向上を図る。
- ◆ 実証期間：令和6年7月25日～令和8年3月31日

(2) 期待される効果

本実証事業により、以下のような効果が期待される。

- ① シームレスかつ多様な交通手段を確保することによる**観光客の移動利便性の向上**
- ② 見知らぬ土地で自ら運転しなくても安心して移動できる**公共交通の利用促進**
- ③ 観光拠点エリア間の移動円滑化による**周遊性の拡大・観光消費額の向上**
- ④ 公共交通の利用促進による**那覇空港の渋滞緩和**



(3) 実証事業の内容

①観光2次交通結節点「北谷ゲートウェイ」の設置（ターミナル機能）

ターミナル機能
①空港直行バス／路線バスのりば
②ミハマシャトルカート／送迎車のりば
③ツアーバス／定期観光バス／送迎バス／身障者団体のりば
各バスおりば（令和7年4月1日より無料周遊バスのりば）
貸切バス乗降場／駐車場（約20台）
タクシーのりば（2台）
シェアサイクルポート（6台）
タイムズカーシェア（1台）
売店（交通アテンダントが運営） ※営業時間 10：00～17：30



民間バス事業者の乗り入れ（令和7年3月時点）

系統／名称	運行会社	運行区間	便数
TK05北谷直行シャトルバス	東京バス	那覇空港-国際通り-北谷ゲートウェイ	12便/日
路線バス43系統	沖縄バス	豊見城営業所-那覇BT-パルコシティ-北谷ゲートウェイ	1~5便/日
路線バス143系統	沖縄バス	那覇空港-那覇BT-パルコシティ-北谷ゲートウェイ	12~15便/日
ミハマシャトルカート	チャタモビ合同会社	美浜エリア内	7便/日

各機能（詳細）

			
<p>空港直行バスのりば</p> <p>直行バス、路線バス等の定期路線が発着するバス停を1番のりばとして設置。</p>	<p>無料周遊バスのりば</p> <p>美浜エリアを周遊する無料周遊バス（小型バス）が発着するバス停を2番のりばとして設置。</p>	<p>ツアーバス等のりば</p> <p>北谷ゲートウェイを発着するツアーバスの乗降場所を設置。定期観光バス等も利用可能。</p>	<p>ミハマシャトルカートのりば</p> <p>ミハマシャトルカートの乗り入れに伴うのりばを設置。</p>
			
<p>バス駐車場</p> <p>大型バスが20台駐車可能なスペースを確保。実証事業開始前と比べて、安全な乗降が可能。</p>	<p>シェアサイクル</p> <p>北谷周辺の観光（散策）や、移動手段の一つとして6ポート設置。</p>	<p>タイムズカーシェア</p> <p>公共交通機関ではアクセスが難しいエリアへも移動できるよう、カーシェアを1台設置。</p>	<p>売店（案内カウンター）</p> <p>交通アテンダントが毎日10:00～17:30まで、公共交通機関を利用した観光案内や、バスのチケット販売等を実施。</p>

外容



各種案内

			
<p align="center">サイネージの設置</p>	<p align="center">電子ペーパーの設置</p>	<p align="center">バス入口付近のサイン</p>	<p align="center">バス出口付近のサイン</p>
<p>バスの発車時刻が確認しやすいよう、売店内にはバスの発車時刻が分かるサイネージを設置。</p>	<p>1番のりば、2番のりばにはバスの出発案内が表示される電子ペーパーを設置。</p>	<p>従来の運用方法と異なるための注意喚起、ならびにバス以外の車両が誤進入しないよう設置。</p>	<p>従来の利用とは異なる運用方法としたため、バスドライバーが正しく利用できるよう設置。</p>
			
<p align="center">場内のバス誘導サイン</p>	<p align="center">場内の歩行者誘導サイン</p>	<p align="center">観光案内マップ</p>	<p align="center">バス運行情報等の掲示</p>
<p>バス動線の明示、ならびに事故防止の観点から、場内各所に矢印等の誘導サインを設置。</p>	<p>主にバス駐車場へ向かう観光客が横断歩道以外の場所を横断しないよう、誘導サインを設置。</p>	<p>北谷ゲートウェイを訪れた観光客向けに、周辺観光地を記載したマップを設置。</p>	<p>売店外壁には、定期路線バスや無料周遊バスなどの案内を掲示できるスペースを確保。</p>

②那覇空港からの直行バスの運行

那覇空港から北谷ゲートウェイまで観光客がスムーズに移動できるよう、那覇空港からの直行バスを運行した。

③美浜エリア周遊バスの運行

直行バス等で北谷ゲートウェイを訪れた観光客が、美浜エリア内のホテルや商業施設へ移動できるよう、美浜エリア内を巡回する周遊バスを運行した。



②直行バスのルート



③周遊バスのルート

2. 現時点での事業効果

(1) 那覇空港 – 北谷ゲートウェイ路線の新設

- 北谷ゲートウェイの設置と併せて、沖縄県による「空港北谷ノンストップバス」、東京バスによる「北谷直行シャトルバス」の2路線が那覇空港–北谷ゲートウェイ間を結ぶ実証運行を行った。
- また、沖縄バスが既存の「路線バス43系統」の起終点を北谷町役場から北谷ゲートウェイへ移行している。
- 令和6年12月21日より、東京バスの「北谷直行シャトルバス」が定期路線化（道路運送法21条による実証運行から道路運送法4条による定期路線としての運行へ移行）するとともに、令和7年1月19日より、沖縄バスが那覇空港と北谷ゲートウェイを結ぶ「路線バス143系統」が新設された。
- 加えて、令和7年4月1日より、沖縄バスによる既存の「空港リムジンバス」の北谷ゲートウェイ乗り入れが予定されている。
- これらを含めて、**那覇空港と北谷町美浜エリアを結ぶバスは、13便/日⇒最大43便/日へ増加**した。

【北谷町へのアクセス強化】

令和7年4月時点で、**2社4路線**が北谷ゲートウェイへ乗り入れ



令和6年7月
(北谷ゲートウェイ設置前)

那覇空港と美浜エリアを結ぶバス
13便/日

【既存路線】

- ・ 空港リムジンバス（沖縄バス）
- ・ らくらくバス（カリー観光）

令和7年4月見込
(北谷ゲートウェイ設置後)

那覇空港と美浜エリアを結ぶバス
最大43便/日

【新設】

- ・ 12/21～北谷直行シャトルバス（東京バス）
※実証運行を経て定期路線化
- ・ 1/19～ 路線バス143系統（沖縄バス）

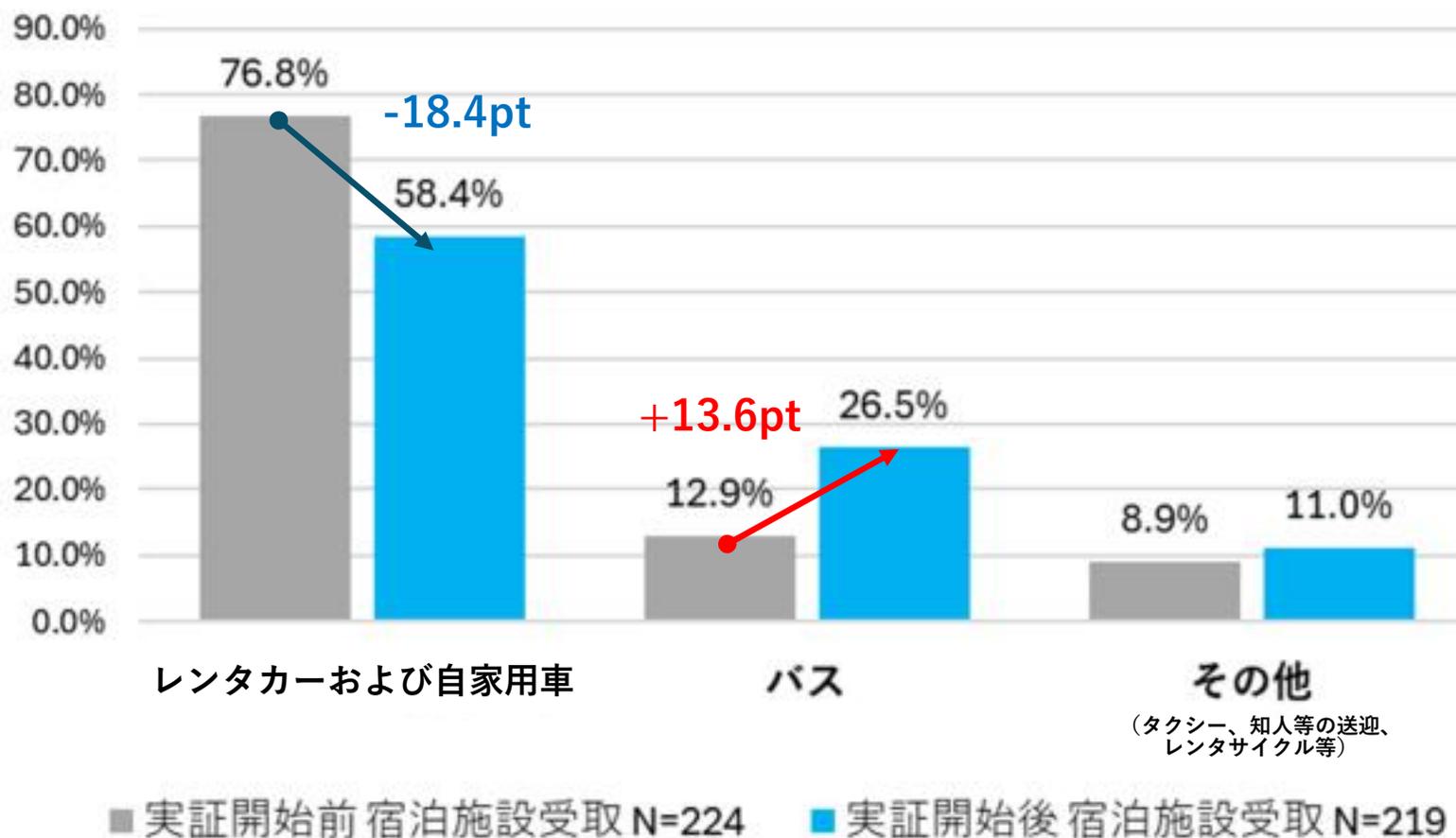
【既存路線乗り入れ】

- ・ 7/25～路線バス43系統（沖縄バス）
- ・ 4/1～ 空港リムジンバス（沖縄バス）

(2) 公共交通の利用促進

- ◆ 美浜エリアのホテル宿泊者を対象に実施したアンケート調査では、宿泊者の交通手段に係る北谷ゲートウェイの設置前後の割合は、レンタカー利用者が76.8%から58.4%と18.4ポイント減少し、路線バス利用者が12.9%から26.5%と13.6ポイント増加した。
- ◆ このことから、北谷ゲートウェイの設置により、レンタカー利用から公共交通機関への利用転換が一定程度確認された。

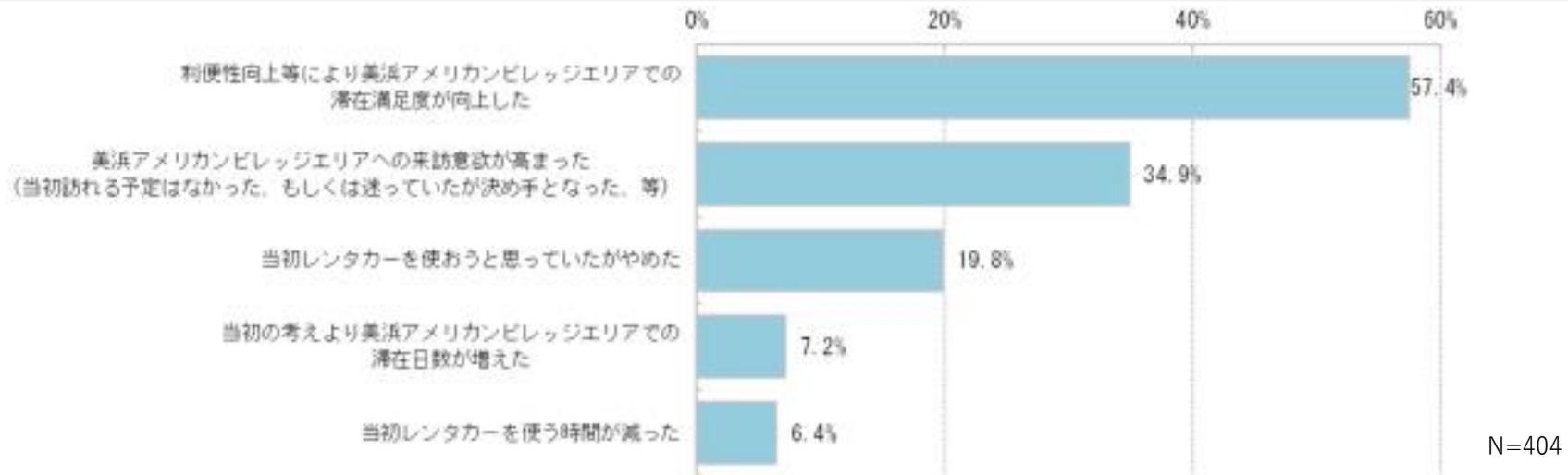
美浜エリアのホテル宿泊者の行き・帰りの交通手段（出典：本事業で実施したアンケート調査）



(3) 観光客の満足度向上

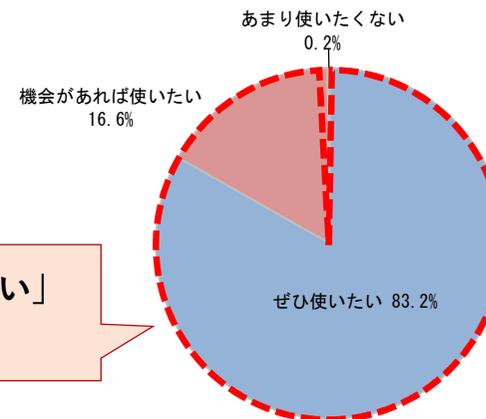
- 北谷ゲートウェイ利用者（北谷ゲートウェイを発着するバス利用者）へのアンケート調査では、回答者の約57%が「利便性向上等により美浜アメリカンビレッジエリアでの滞在満足度が向上した」、約35%が「美浜アメリカンビレッジエリアへの来訪意欲が高まった」と回答する等、本実証事業の実施による移動手段や観光プランの変化が確認できた。
- また、約20%が「当初レンタカーを使おうと思っていたがやめた」と回答しており、美浜エリアのホテル宿泊者への調査と同様に、レンタカーから公共交通機関への利用転換が一定程度確認された。

北谷ゲートウェイ（直行バス等）による移動手段や観光プランの変化（複数回答）



出典：本事業で実施した観光客アンケート

北谷ゲートウェイ（直行バス等）の今後の利用意向



「ぜひ使いたい」「機会があれば使いたい」
の合計は**99.8%**

N=404

出典：本事業で実施した観光客アンケート

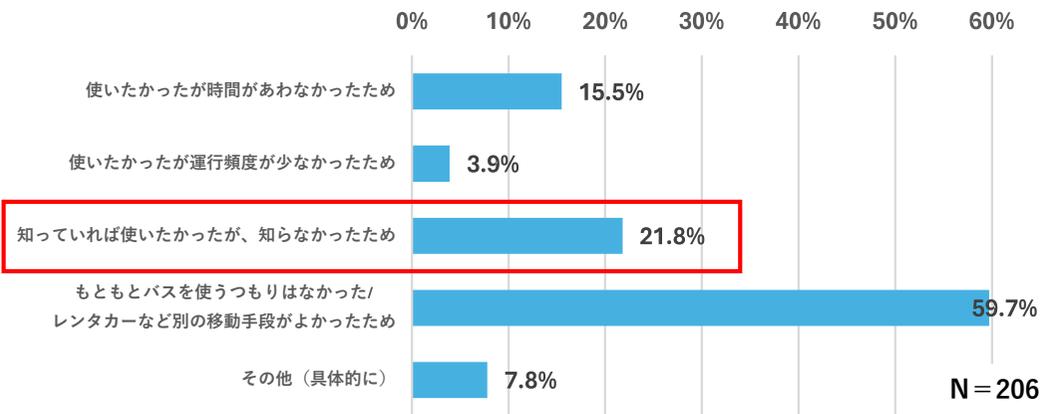
3. 課題

(1) 北谷ゲートウェイの周知強化

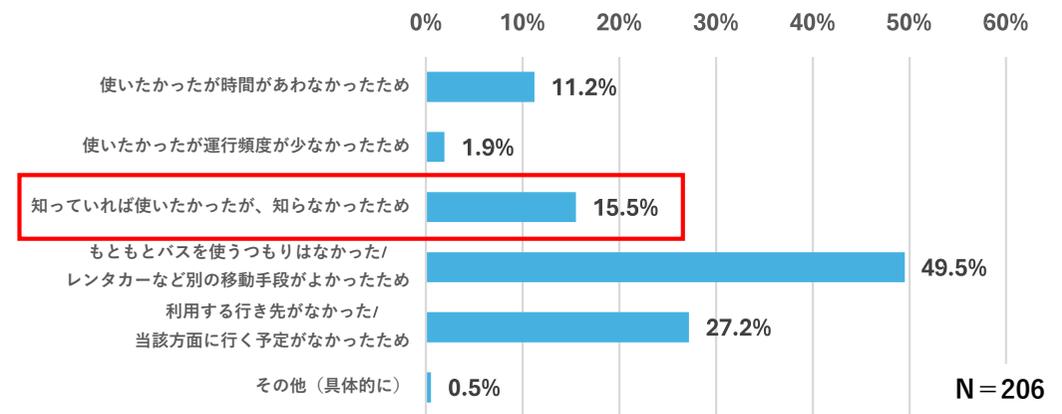
① 観光客の認知度

- ◆ 美浜エリアのホテル宿泊者を対象に実施したアンケート調査では、北谷ゲートウェイを利用しなかった者のうち、利用しなかった理由について、「知っていれば使いたかったが、知らなかったため」という観光客が一定数いる。
- ◆ 認知度の向上により、さらなる利用者の増加が期待される。

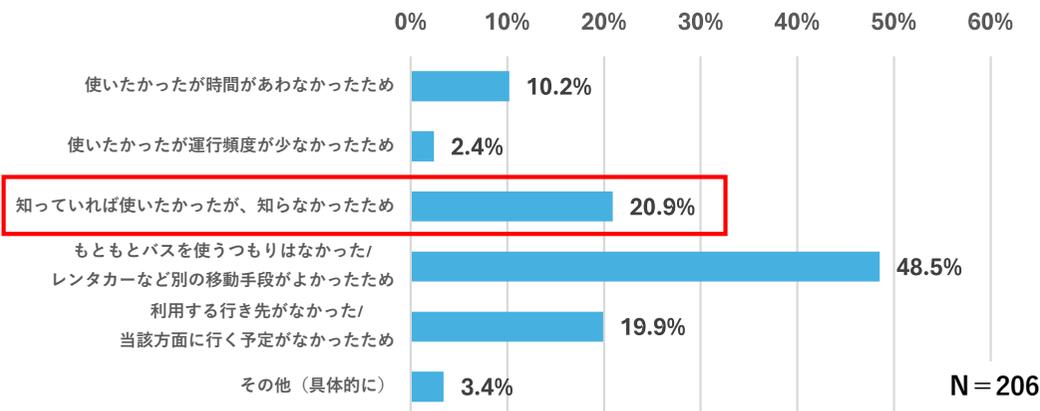
新規運行バスを利用しなかった理由（複数回答）【北谷⇄那覇空港】



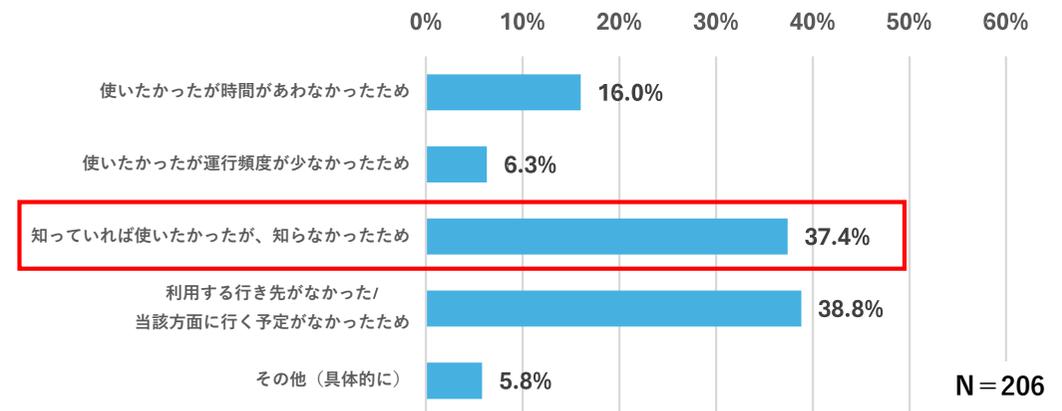
新規運行バスを利用しなかった理由（複数回答）【北谷⇄恩納村・北部リゾートエリア】



新規運行バスを利用しなかった理由（複数回答）【北谷⇄国際通り】



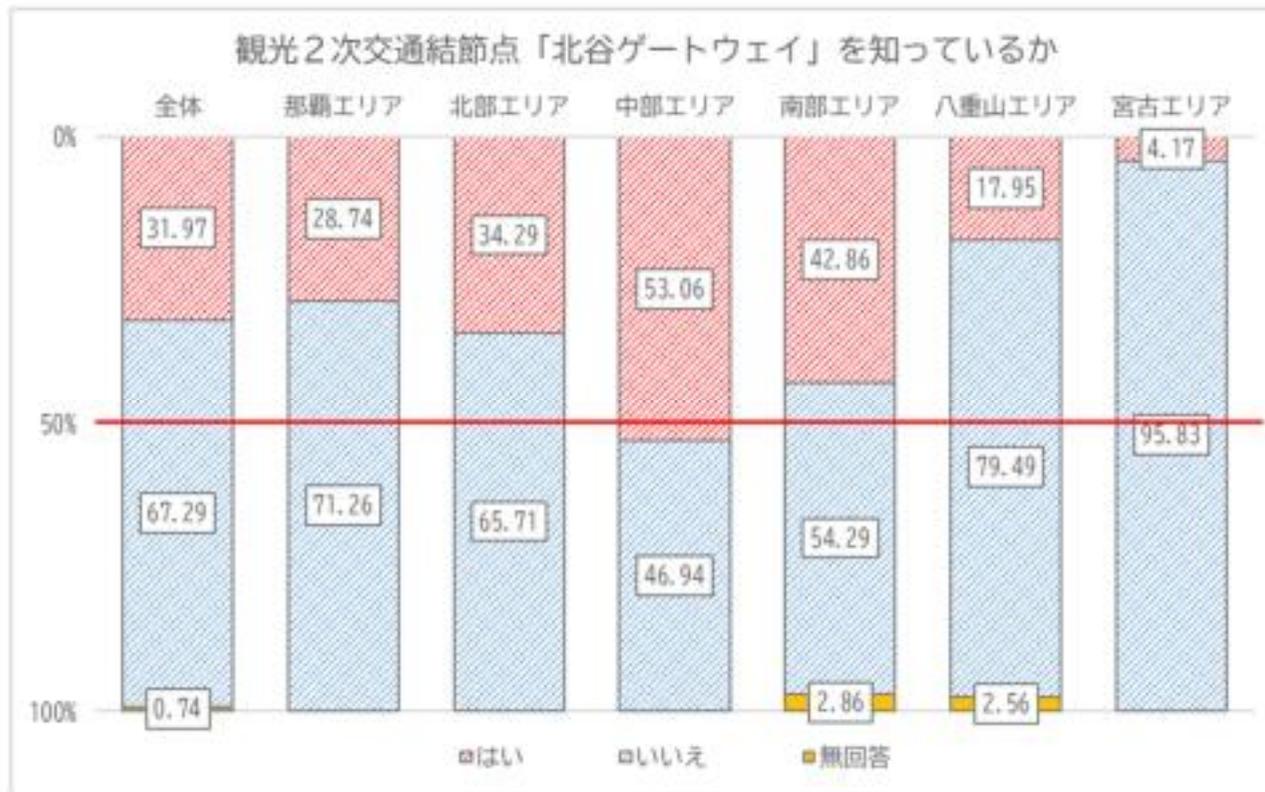
新規運行バスを利用しなかった理由（複数回答）【無料周遊バス】



②観光事業者の認知度

- ◆ 沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課が実施した観光事業者に対するアンケート調査では、北谷ゲートウェイの認知度が本島平均で**39.7%**と低い状況であった。
- ◆ 利用促進に向け、観光客へのWEB、SNS等を中心とした旅マエの周知強化を図るとともに、周辺のホテルや観光施設、観光情報関連サイト等との連携強化等、**観光事業者の認知度を高めていくことも重要**である。

県内観光事業者の「北谷ゲートウェイの認知状況」



出典：沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課
「沖縄県観光産業実態調査第4四半期（令和6年10月～12月）」

< 調査概要 >

調査対象数：県内に所在する観光産業関連事業所1500か所

調査方法：郵送による調査票配布・回収（※一部WEB）

調査期間：令和6年12月18日（水）発送

※令和7年2月10日（月）到着分までを集計

回収状況：有効回収数269件（回収率19.2%）

③これまでの周知広報の取組



北谷ゲートウェイ公式WEBサイト



公式X



公式Instagram



直行バスリーフレット (表)



直行バスリーフレット (裏)

④北谷ゲートウェイ関連情報発信の閲覧状況

◆北谷ゲートウェイの周知・広報は、プレスリリースや開所式を実施するとともに、公式WEBサイトやSNSによる情報発信、検索キーワードに連動したWEB広告、ホテルや関係団体へのリンク掲載依頼や、リーフレット配布等を行ってきた。

◆結果は以下の通りである。

ツール	確認項目	実施結果	備考
WEBサイト	延べ表示回数	約 14万 回	・ Googleアナリティクスの数値を引用
	ユニークユーザー数	約 4.7万 人	・ Googleアナリティクスの数値を引用
各種SNS	閲覧回数	約 10,400 回	・ Instagramの閲覧回数
	フォロワー数	計： 約380 人	・ X、Facebook、Instagramの合計フォロワー数
リーフレット	配布枚数	約 3,000 枚	・ ラミネートしたものをフロントへ設置するなどの対応が多かったため、ホテルへの大量配布依頼は実施していない。 ・ そのほか、北谷ゲートウェイ売店を主として、観光情報センター、主要ホテルなど23か所へ配布依頼を実施した。
WEB掲載	リンク掲載数	9 か所	・ 美浜エリアのホテル、北谷町観光協会、おきなわ物語、北谷日常など

(2) 主要観光地との接続強化

◆令和6年度の本実証事業では、那覇空港と北谷ゲートウェイを結ぶ路線が複数新設される等、空港－北谷間のアクセスが強化された一方、北谷ゲートウェイが観光2次交通結節点としての機能を高められるよう、今後は、**北谷ゲートウェイを基点とした主要観光地との接続強化**を図っていく必要がある。

<参考：北谷町美浜エリアを訪問した観光客の動向>

美浜エリア訪問**前**の立ち寄り地 (N=160)
※上位6か所

立ち寄り地	割合
国際通り	21.3%
沖縄美ら海水族館	9.4%
首里城	6.3%
瀬長島	5.6%
真栄田岬	5.0%
古宇利島	5.0%

美浜エリア訪問**後**の立ち寄り地 (N=187)
※上位6か所

立ち寄り地	割合
国際通り	24.1%
沖縄美ら海水族館	18.2%
首里城	6.4%
古宇利島	5.3%
真栄田岬	3.7%
万座毛	3.7%

出典：沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課 令和5年度観光2次交通結節点機能強化事業（事前準備）
「美浜アメリカンビレッジエリアの移動の利便性向上に向けたアンケート」より引用

(3) レンタカーとの連携強化

- ◆本実証事業の効果として期待される「那覇空港の渋滞緩和」に向けて、沖縄観光における移動手段の中心となっているレンタカー貸渡場所の分散化を図っていくことが重要である。
- ◆こうした構造的な課題の対応として、本実証事業においても、北谷ゲートウェイがレンタカーへの乗換拠点として機能するよう、レンタカー事業者と連携した仕組みを作っていく必要がある。

(4) 貸切バス駐車場の利用状況の分析

- ◆北谷ゲートウェイ内に貸切バス20台分の駐車スペースを確保した結果、令和7年3月までの間、1日平均39.9台、累計9,975台の利用があった。
- ◆また、バス乗務員へのアンケート調査により、1台あたり平均29.8人（月ごとに利用報告書集計結果より算出）が乗車しており、令和7年3月までの間で1日あたり平均1,206.3人（推計値）、累計297,282人（推計値）の観光客が北谷ゲートウェイを利用し、その多くが美浜アメリカンビレッジでの買い物や飲食、周辺での観光を楽しんでいるものと考えられる。
- ◆「北谷ゲートウェイができ安全な乗降、駐車スペースが確保されたことで美浜エリアに立ち寄る観光バスやツアーバスを増やした」との旅行社からのヒアリング結果もあり、地域のツアーバスや観光バス等の来訪促進に寄与するとともに、エリア内の観光消費の向上につながっているものと考えられる。
- ◆一方で、貸切バス駐車場については、相当の面積が必要とされることから、その必要性や設置形態等については、引き続き効果検証を進めながら、適切に見極めていく必要がある。

貸切バス駐車場の利用状況（令和6年7月25日～令和7年3月31日）

累計利用台数 および乗客数	利用台数	9,975台
	推計利用者数	297,282人
日平均利用台数 および乗客数	利用台数	39.9台
	推計利用者数	1,189.1人

※利用者数は乗務員に記入を依頼している利用報告書集計結果の各月の平均乗車人数を台数に乗じて算出

(5) 実証事業実施に伴う美浜駐車場への影響

- ◆北谷ゲートウェイの設置に伴い、美浜駐車場の駐車可能台数は1,463台から1,218台へと245台減少している。
- ◆特に、利用の多い土日については、混雑・満車近くになる状況が北谷ゲートウェイ設置後に大きく増加しており、駐車場利用者の利便性や利用満足度の低下が懸念される。
- ◆また、混雑時には、他の駐車場を探す車両による周辺道路の混雑・渋滞の発生も確認された。このような課題は、北谷ゲートウェイ設置前から散見されており、こうした課題がさらに顕著となっていることが懸念される。
- ◆美浜エリアの宿泊者（県内在住者）に対するアンケートでは、「美浜エリアの観光・移動の利便性向上のために重要と考えられる取組」について、半数近くが「駐車場容量不足等によるうろつき渋滞の削減やエリアの発展に向けた駐車場機能拡充」と回答しており、重要な課題として認識していることが確認された。また、駐車場の容量拡大については、以前より要望がある状況となっている。
- ◆このため、事業実施に伴う影響を把握するための各種調査を通じて、引き続き状況を注視するとともに、観光2次交通結節点の設置場所については、効果検証を進めながら、適切に見極めていく必要がある。

【北谷ゲートウェイ設置前後の美浜駐車場の土日の混雑・満車状況】



<美浜公共駐車場混雑の様子>

4. 令和7年度の取組

令和6年度実証事業の課題を踏まえた、令和7年度の取組内容については、以下のとおり。

(1) 北谷ゲートウェイの周知強化

- ・WEB、SNSでの検索キーワード、興味・関心に連動したリスティング広告の強化
- ・広告効果を高めるためのプロモーション用素材の作成（画像、動画等）
- ・北谷ゲートウェイ周辺ホテル等と連携した周知の強化（WEBサイト等）
- ・那覇空港における案内の強化
- ・インフルエンサーを活用したSNS発信
- ・インバウンドにも対応したプロモーションの強化
- ・バスチケットのオンライン販売等（バス事業者と連携） など

(2) 主要観光地との接続強化

- ・恒常的に利用が見込まれる北谷ゲートウェイから主要観光地へ向かうバスの実証運行（美ら海水族館方面、首里城方面、ライカム方面など、観光客ニーズやバス事業者との調整を踏まえて検討）
- ・臨時的な需要が高まるイベントやプロスポーツの試合等における期間限定シャトルバスの実証運行及び主催者等と連携した利用促進（プロ野球キャンプ、大型イベント、WBSC U-18野球ワールドカップ2025 など）
- ・北部テーマパーク「JUNGLIA」の開業による影響を見据えた北谷ゲートウェイと臨時駐車場（名護漁港等）への接続 など

(3) レンタカーとの連携強化

- ・北谷町にあるレンタカー事業者と連携した取組（バスとレンタカーのオンラインセット販売、インセンティブキャンペーンの実施など）

(4) 貸切バス駐車場の利用状況の分析

- ・モニタリング調査による利用状況の分析（利用時間帯・時期等を踏まえた最大駐車数の把握等）
- ・旅行会社等関係者へのアンケート調査（需要調査）

(5) 実証事業実施に伴う美浜駐車場への影響把握

- ・混雑状況把握の継続実施

5. 実証事業終了後の事業展開に係る検討事項

第6次沖縄県観光振興基本計画（令和4年7月）や沖縄県地域公共交通計画（令和6年5月）、北谷町地域公共交通計画（令和5年3月）等により北谷町を観光2次交通結節点と位置付けており、また、本中間報告においても、路線の新設やレンタカーから公共交通への転換等の効果が確認されている。

そのため、実証事業終了後、どのような観光2次交通結節点を目指していくべきかは、以下の論点を基に検討していく必要がある。

（1）場所

本実証事業では、美浜駐車場内に観光2次交通結節点「北谷ゲートウェイ」を実証的に設置しているが、当該地は町有地であることから、実証終了後の観光2次交通結節点の設置場所については、北谷町及び関係者と協議を重ねていく必要がある。

これらを踏まえた上で、美浜駐車場内での設置（エリアの検討を含む）、美浜駐車場以外での設置等、様々な観点からの検討が必要と考えられる。

（2）規模

結節点の規模（必要な広さ・敷地面積等）について検討・整理をしていく必要がある。

特に、必要面積の大きい貸切バスの駐車スペースについては、仮に、美浜駐車場内に観光2次交通結節点を設置する際の一般駐車場減少をどのように考えるかを含めた検討が必要と考えられる。

現在の実証と同様の機能一体型、貸切駐車場は別の場所で確保する機能分散型など複数パターンについて整理するとともに、参考事例を含めた規模の検討が必要である。

（3）機能

本実証事業では、北谷ゲートウェイ内での路線バス、貸切バス、タクシー、送迎車両等の乗降および待機場所、シェアサイクルやカーシェアリングのポート設置、交通案内及び待合所等の設置を行っている。

また、北谷ゲートウェイを発着する路線バスについては、民間事業者と連携の上、空港との直結、主要観光地との結節、周遊バスによる幹線との結節等に取り組んでいる。

こうした機能について、利用実績や、利用者、事業者双方のニーズ等を踏まえて、必要な機能を検討していく必要がある。

（4）その他

実証事業期間中に民間事業者による路線バス等が運行されていることから、その後の方針が決定されるまでの間、北谷ゲートウェイの取り扱いについても併せて検討していく必要がある。

6. 利用状況

(1) 北谷ゲートウェイが提供する各種交通サービスの状況

	令和6年						令和7年			
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～
①県・空港北谷ノンストップバス (空港⇄北谷GW)		10便/日 7/25～9/27		4便/日 9/28～2/28						
②東京バス 北谷直行シャトルバスA (空港/国際通り⇄北谷GW)		18便/日 7/25～9/23		10便/日 9/24～2/28					12便/日 3/1～	
③沖縄バス 空港リムジンバスAエリア										6便/日 4/1～
④無料周遊バス		14便/日 7/25～9/27 (小型バス)		9便/日(土日祝のみ) 9/28～12/1 (小型バス)		7便/日 12/7～3/31(ミハマシャトルカートへ運行委託)				28便/日 4/1～(小型バス)
⑤沖縄バス 43系統		14便/日(平日) 7/25～1/18	12便/日(休日)					1便/日(平日) 1/19～	4便/日(土曜)	5便/日(日曜)
⑥沖縄バス 143系統								15便/日(平日) 1/19～	12便/日(土曜)	13便/日(日曜)
⑦東京バス 北谷直行シャトルバスB (北谷GW⇄北部リゾート)		16便/日 7/25～9/29								
⑧プロ野球キャンプシャトルバス								16便/日 特定の10日間		
⑨ミハマシャトルカート	不定期運行 ～8/27		不定期運行 8/28～12/6 北谷GW乗り入れ			④無料周遊バスとして運行 12/7～3/31				
⑩シェアサイクル			6ポート設置 8/23～							
⑪タイムズカーシェア							利用開始 12/27～			

(2) 全モードを含む利用者数 ※令和6年7月25日～令和7年3月31日まで

北谷ゲートウェイの令和7年3月末までにおける、全モードの利用者数は以下の通りである。

総利用者数

326,144

<総数>

[単位：人]

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
路線バス	618	3,910	4,286	1,477	1,745	2,338	2,168	3,344	3,603	23,489
直行バス	564	3,632	4,031	1,477	1,745	2,338	2,168	3,344	3,603	22,902
県・空港北谷ノストップバス (空港⇄北谷GW)	114	892	1,111	395	427	548	556	833	—	4,876
東京バス・TK05北谷直行シャトルバスA系統 (空港/国際通り⇄北谷GW)	450	2,740	2,920	1,082	1,318	1,790	1,612	2,511	3,603	18,026
その他路線バス	54	278	255	0	0	0	0	0	0	587
東京バス・北谷直行シャトルバスB系統 (北谷GW⇄北部リゾートホテル)	54	278	255	—	—	—	—	—	—	587
路線バス以外	7,183	27,487	27,079	39,803	51,714	38,552	35,811	44,296	30,730	302,655
無料周遊バス	53	384	334	45	65	395	458	321	478	2,533
バスツアー	—	—	—	—	—	—	—	623	0	623
プロ野球キャンプシャトルバス (全11日間運行、2/11のみ無料)	—	—	—	—	—	—	—	579	—	579
観光闘牛バスツアー	—	—	—	—	—	—	—	44	—	44
貸切バス	7,130	27,001	26,474	39,438	51,339	37,908	35,098	42,969	29,925	297,282
その他モビリティ	0	102	271	320	310	249	255	383	327	2,217
シェアサイクル	—	88	228	310	310	249	238	359	312	2,094
タイムズカーシェア (利用件数)	—	—	—	—	—	—	17	24	15	56
ミハマシャトルカート	—	14	43	10	—	—	—	—	—	67

(3) 1日あたり・便毎のバスの利用状況 ※令和6年7月25日～令和7年3月31日まで

北谷ゲートウェイの令和7年3月末までにおける、路線バスならびに無料周遊バスの1日あたりの平均利用者数は以下の通りである。

<1日あたりの平均利用者数>

1日あたりの平均利用者数

113.1人

		7月 (7日間)	8月 (31日間)	9/1~9/27 (27日間)	9/28~9/30 (3日間)	10月 (31日間)	11月 (30日間)	12月 (31日間)	1月 (31日間)	2月 (28日間)	3月 (31日間)	合計/平均
県・空港北谷 ノンストップバス (空港⇄北谷GW)	月あたり	114	892	1,085	26	395	427	548	556	833	—	4,876
	日あたり	16.3	28.8	40.2	8.7	12.7	14.2	17.7	17.9	29.8	—	20.7
	便あたり	1.6	2.9	4.0	2.2	3.2	3.6	4.4	4.5	7.4	—	3.8

		7月 (7日間)	8月 (31日間)	9/1~9/23 (23日間)	9/24~9/30 (7日間)	10月 (31日間)	11月 (30日間)	12月 (31日間)	1月 (31日間)	2月 (28日間)	3月 (31日間)	合計/平均
東京バス・TK05北谷 直行シャトルバスA系統 (空港/国際通り⇄北 谷GW)	月あたり	450	2,740	2,600	320	1,082	1,318	1,790	1,612	2,511	3,603	18,026
	日あたり	64.3	88.4	113.0	45.7	34.9	43.9	57.7	52.0	89.7	116.2	70.6
	便あたり	3.6	4.9	6.3	4.6	3.5	4.4	5.8	5.2	9.0	9.7	5.7

		7月 (7日間)	8月 (31日間)	9/1~9/23 (23日間)	9/28~9/30 (3日間)	10月 (31日間)	11月 (30日間)	12月 (31日間)	1月 (31日間)	2月 (28日間)	3月 (31日間)	合計/平均
東京バス・北谷直行 シャトルバスB系統 (北谷GW⇄北部リゾー トホテル)	月あたり	54	278	255	—	—	—	—	—	—	—	587
	日あたり	7.7	9.0	11.1	—	—	—	—	—	—	—	9.3
	便あたり	0.5	0.6	0.7	—	—	—	—	—	—	—	0.6

		7月 (7日間)	8月 (31日間)	9/1~9/27 (27日間)	9/28~9/30 (3日間)	10月 (9日間)	11月 (10日間)	12月 (26日間)	1月 (31日間)	2月 (28日間)	3月 (31日間)	合計/平均
無料周遊バス	月あたり	53	384	317	17	45	65	395	458	321	478	2,533
	日あたり	7.6	12.4	11.7	5.7	5.0	6.5	15.1	14.8	11.5	15.4	12.5
	便あたり	0.5	0.9	0.8	0.6	0.6	0.7	※(1.8)	2.1	1.6	2.2	1.2

※12月1日の小型バス運行、12月7日以降のEVカート運行、それぞれの便あたり利用者数平均